

感染症の中国史：公衆衛生と東アジア



中公新書

2034

[感染症の中国史：公衆衛生と東アジア 下载链接1](#)

著者:飯島 渉

出版者:中央公論新社

出版时间:2009-12-21

装帧:新書

isbn:9784121020345

感染症の中国史：公衆衛生と東アジア /

Kansenshō no chūgokushi : kōshū eisei to higashiajia

著者： 飯島渉. 飯島渉著.; Wataru Iijima

出版商： 中央公論新社, Tokyo: Chuōkōronshinsha, 2009.

作者介绍:

目录: 目次-----

はじめに

第1章 ペストの衝撃

1 ペストのグローバル化—雲南・香港から世界へ

感染爆発 ペスト菌の発見 欧州のペストは中国起源か 広東省での流行

香港での感染爆発 満州への伝播 日本人医師団 ハワイ黒死病事件

天津の衛生改革—占領の衝撃 光緒新政と公衆衛生 奉天での制度化

上海—揺れる租界と華界 衛生の政治化

2 感染症の政治化—列強の思惑と国際ペスト会議

満州のペスト流行 シベリア鉄道と満鉄 ハルビンから長春へ—満州北部の流行

満鉄の対応 満州南部への拡大 奉天当局の対応 戸別検査の実施 山東苦勞

首都北京でのペスト発生 清朝政府による対策の本格化 日本陰謀説 日清共同防疫機関

国際ペスト会議と政治化

第2章 近代中国と帝国日本モデル

1 公衆衛生の日本モデル—植民地台湾と租借地関東州

日本の衛生改革 横浜とペスト 衛生ナショナリズム 植民地台湾

国内制度の“輸出”と反発 軍陣医学—日清戦争と感染症 台湾駐屯軍の感染症対策

後藤新平と「台湾統治救急案」 「衛生総督」高木友枝 保甲制度と医学校の設置

関東州の衛生行政 大連衛生組合 安濟善堂 関東州でのペスト 管理される苦勞

植民地医学・帝国医療

2 中華民国と「公衆衛生」

辛亥革命と衛生局設置 伝染病予防条例の制定 山西省のペストと閻錫山

中央防疫処設立と種痘の実施 北京公共衛生事務所 「公衆衛生」から「公共衛生」へ

国際標準化の圧力—国際連盟保健機関 極東伝染病情報局 中国「東方病夫」論

衛生行政のマスター・プラン 胡定安と社会医学 西洋医学对中国医学 検疫権の回収

第3章 コレラ・マラリア・日本住血吸虫病

1 コレラ—19世紀の感染症

インドからの感染 交通網の整備とグローバル化 アヘン戦争とインド兵 水道の整備

海港検疫 検疫の政治学 1919年の流行 台湾と朝鮮 1919年の中国 各都市での状況

コレラと中国

2 台湾のマラリア—開発原病

マラリアとは何か 中国の流行地域 台湾出兵 日清戦争と「防蚊隊」 対策の展開

マラリア防遏規則 小泉丹と森下薫 映画『マラリア』 撲滅へ ロールバック・マラリア

3 日本住血吸虫病—毛沢東「瘟神を送る」

日本住血吸虫病とは何か 病名「日本」の由来 中国での流行 スチブナール 小宮義孝

中国共産党の対策 小宮ミッション 小宮の提言 大衆動員 「送瘟神」

植民地の学知—その継承と断絶

終章 中国社会と感染症

感染症の逆襲 人類史との関連 人口へのインパクト 流行の規模 国家医療

近代性の連鎖

主要参考文献
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[感染症の中国史：公衆衛生と東アジア_ダウンロード1](#)

标签

- 历史
- 海外中国研究
- 民族志
- 医学
- 中国研究
- 20读

评论

伝播論：人传人，国传国

[感染症の中国史：公衆衛生と東アジア_ダウンロード1](#)

书评
